滋LP様式第48-1

**液化石油ガス設備工事チェックリスト（バルク貯槽1,000kg未満）**

１．当該液化石油ガス設備工事を行った事業所

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 設備工事を行った  事業所名称 |  | 電話番号 |  |
| 特定液化石油ガス設備工事開始届 | 年　　　月　　　日届出 | 担当者氏名 |  |
| 滋賀県・　　　都道府県(※)　　　届出番号　第　　　　　　号 | | |

※滋賀県以外で開始届をした場合は届出番号の確認できる書類を添付

２．施設名称、工事完成年月日等

|  |  |
| --- | --- |
| 工事に係る施設名称 |  |
| 完成年月日 | 年　　　月　　　日 |
| 供給開始日 | 年　　　月　　　日頃（予定） |
| 施設の指定 | 規則86条　　　号に定める施設 |

3.　技術上の基準（規則第１９条）

供給設備（貯蔵設備、気化装置、調整器及びガスメーター並びにこれらに準ずる設備（貯蔵設備とガスメーターの間に設けられるものに限る。）並びにこれらを接続する管（「供給管」）並びにこれらの設備に係る屋根、遮へい板及び障壁）について記載する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 該当条文  ※１ | 技術基準適合の根拠となる内容 | 根拠書類　※２ | |
| 書類名 | 添付 |
| バルク貯槽  第3号イ | 規格：□特定設備検査合格証　□特定設備基準適合証 | 左記の証 | 有･無 |
| 保安距離  第3号ロ  告示2条 | 保安距離を様式第3号及び4号に記載   * 第1種保安物件は、供給先自体も該当   (基準：第1種保安距離1.5m以上、第2種保安距離1.0m以上)  構造壁：□有(構造壁の図面を添付)　□無 | 様式第3号 | － |
| 様式第4号 | － |
| 障壁の図面 | 有･無 |
| 安全弁  第3号ハ(1)  告示3条  例示46 | 規格：□高圧ガス設備試験　□大臣認定品  構造：□バネ式　□その他(　　　　　　　　) | 試験成績書 | 有･無 |
| 安全弁元弁  第3号ハ(1)  告示3条 | 規格：□高圧ガス設備試験　□大臣認定品  構造：□安全弁取付時のみ開放　□施錠、封印 | 試験成績書 | 有･無 |
| 液面計  第3号ハ(2)  告示4条 | 規格：□高圧ガス設備試験　□大臣認定品 | 試験成績書 | 有･無 |
| 過充てん防止装置  第3号ハ(3)  告示5条 | 規格：□高圧ガス設備試験　□大臣認定品 | 試験成績書 | 有･無 |
| 液取入弁  第3号ハ(4)  告示6条2項 | 規格：□高圧ガス設備試験　□大臣認定品 | 試験成績書 | 有･無 |
| 液取入弁の液流出防止装置  第3号ハ(4)  告示6条1項 | 規格：□高圧ガス設備試験　□大臣認定品 | 試験成績書 | 有･無 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ガス取出弁  第3号ハ(5)  告示7条3項 | | 規格：□高圧ガス設備試験　□大臣認定品 | | | 試験成績書 | 有･無 |
| ガス取出弁の遮断装置  第3号ハ(5)  告示7条1項 | | 装置：□ガス放出防止器　□緊急遮断装置　□未設置  規格：□高圧ガス設備試験　□大臣認定品  　□非該当(調整器の□内部　□出口) | | | 試験成績書 | 有･無 |
| 取付位置：ガス取出弁の(□内部　□出口)又は□中低圧部 | | | 様式第6号 | － |
| 液取出弁  第3号ハ(6)  告示7条3項 | | 規格：□高圧ガス設備試験　□大臣認定品  液取出弁への供給管、配管、集合装置接続：□有　□無 | | | 試験成績書 | 有･無 |
| 液取出弁の遮断装置  第3号ハ(6)  告示7条1項 | | 装置：□ガス放出防止器　□緊急遮断装置　□未設置  規格：□高圧ガス設備試験　□大臣認定品　□非該当 | | | 試験成績書 | 有･無 |
| 取付位置：□液取出弁の(□内部　□出口) | | | 様式第6号 | － |
| 均圧弁  第3号ハ(7)  告示8条2項 | | 均圧弁：□有　□無  規格：□高圧ガス設備試験　□大臣認定品 | | | 試験成績書 | 有･無 |
| 均圧弁のｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ  第3号ハ(7)  告示8条1項 | | 均圧弁カップリング：□有　□無  規格：□高圧ガス設備試験　□大臣認定品 | | | 試験成績書 | 有･無 |
| プロテクター  第3号ハ(8)  告示9条 | | 付属機器の設置場所：□ふた付きプロテクター内に設置　□左記以外  付属機器の保護状況を様式第6号に記載 | | | 様式第6号 | － |
| ﾌﾟﾛﾃｸﾀｰ内部写真 | 有･無 |
| 警戒標  第3号ハ  (9)(10) | | 警戒標の設置位置を様式第4号に記載  警戒標の種類を以下に☑  □液化石油ガス(赤文字)　□LPガス(赤文字)  □火気厳禁(赤文字)　□緊急連絡先 | | | 様式第4号 | － |
| 写真 | 有･無 |
| 腐食措置  第3号ハ(11)  告示10条 | | バルク貯槽の告示で定める腐しょく防止措置：□適合　□未確認 | | |  | － |
| 転倒防止  第3号ハ(12) | | バルク貯槽には、底部の腐しょく及び転倒を防止するための適当な材質及び構造の支柱又はサドル等を取り付け：□適合　□未確認 | | | 写真 | 有･無 |
| 地盤面上に設置 | 基礎  第3号ニ(1) | 基礎はコンクリート盤等で水平かつ地盤面から5cm以上高く、不同沈下等でひずみが生じない：□適合　□未確認  地盤面からの基礎面の高さ　　cm | | | 写真 | 有･無 |
| 車両措置  第3号ニ(2)  県手引Q7 | 道路、車両通路、駐車場に面した部分：□有　□無  車両が接触しない措置：□有　□無 | | | 様式第4号 | － |
| 措置写真 | 有･無 |
| 固定  第3号ニ(3) | 支柱又はサドル等：□基礎にアンカーボルト等で固定　□左記以外 | | | 固定状況写真 | 有･無 |
| 接地  第3号ニ(4)  告示11条 | 接地接続線断面積　　mm2(5.5mm2以上)  接地棒：直径　　mm(7mm以上)、長さ　　mm(300mm以上) | | | 接続状況写真 | 有･無 |
| 放出管  第3号ニ(5)  告示12条 | 安全弁の放出管：□設置　□未設置  放出管開口部のバルク貯槽頂部からの高さ：　　cm | | | 様式第6号 | － |
| 写真 | 有･無 |
| 地盤面下に埋設 | 埋設  第3号ホ(1) | 地盤面からバルク貯槽頂部の埋設深さ：　　cm(30cm以上) | | | 様式第6号 | － |
| 埋設写真 | 有･無 |
| 車両措置  第3号ホ(2) | 埋設した場所に自動車等車両が乗り入れない措置：□実施　□未実施  バルク埋設箇所の車両措置を様式第5号に記載 | | | 様式第5号 | － |
| 措置写真 | 有･無 |
| 浮上防止  第3号ホ(3)  告示13条 | 地下水による浮き上がりを防止する措置：□実施　□未実施  バルク貯槽及びコンクリート板の質量合計　　kg  浮力の合計値　　kg | | | 固定状況写真 | 有･無 |
| 埋設土  第3号ホ(4) | 石塊等のない土砂又は砂による埋設：□適合　□未確認 | | | 埋戻土写真 | 有･無 |
| ガス検知管  第3号ホ(5)  告示14条 | ガス検知用の孔あき管：□設置　□未設置  検知管の本数：　　本、検知管の内径　　mm  検知管の材質： | | | 写真 | 有･無 |
| 標識杭  第3号ホ(6) | 水平投影面の四隅に、貯槽の位置を示す標識杭：□設置　□未設置 | | | 写真 | 有･無 |
| ﾌﾟﾛﾃｸﾀｰ  第3号ホ(7) | プロテクターのふたは、厚さ5cm以上の不燃性の断熱材を裏当て  □適合　□未確認 | | | 裏当て写真 | 有･無 |
| 火気  第3号ヘ  例示13  県手引Q5 | | 火気までの距離を様式第3号及び4号に記載  (基準：バルク貯槽外面から火気まで2mを超える)  火気をさえぎる措置  □有(様式第4号に詳細を記載)　□無 | | | 様式第3号 | － |
| 様式第4号 | － |
| 漏えい  第4号 | | バルク貯槽のLPガス漏えい：□漏えい無し　□漏えい有り | | |  | － |
| ガス漏れ検知  第5号  告示15条 | | ガス漏れ検知器の設置の有無を様式第3号に記載  漏えい情報伝達先： | | | 様式第3号 | － |
| 検知器未設置の理由 | | □告示15条2項1号ハ(漏えいガスを遮るものがない) | 状況写真 | 有･無 |
| □告示15条2項2号(漏えい有無の確認)  　漏えい有無の確認間隔：　　ヶ月に1回 | 記録 ※３ | 有･無 |
| 滞留措置  第6号  告示16条 | | 調整器：□単段減圧式調整器　□二段減圧式一体型調整器  　　　　□二段減圧式分離型調整器  調整器の設置場所を様式第6号に記載 | | | 様式第6号 | － |
| 写真 | 有･無 |
| 第７号（第１８条） | 供給能力  第4号  例示27 | 調整器等は消費者の最大消費数量に適応  最大消費数量：　　kW(　　　kg/h)  調整器容量：　　kg/h、気化装置容量：　　kg/h | | |  | － |
| 欠陥  第5号 | 集合装置、供給管等に使用上支障のある腐しょく、割れ等の欠陥  □欠陥なしを確認済み　□欠陥の有無を未確認 | | |  | － |
| 腐食防止  第6号  例示28  ※変更の工事にあっては、変更のあった部分について記載 | 露出 | 屋外に設置する供給管：□有　□無 | | 施工状況写真 | 有･無 |
| 床下、室内又は壁面(屋外)に設置する供給管：□有　□無 | | 配管支持写真 | 有･無 |
| 溝内に設置する供給管：□有　□無 | | 施工状況写真 | 有･無 |
| 室内で直接水の影響を受ける供給管：□有　□無 | | 床下立上写真 | 有･無 |
| 埋設 | 埋設する供給管：□有　□無  上記のうちPE管：□有(埋設深　　　cm)　□無 | | 埋設配管写真 | 有･無 |
| 埋設立上写真 | 有･無 |
| 壁、床を貫通する供給管：□有　□無 | | | 貫通部写真 | 有･無 |
| 壁、床等の空洞部の供給管：□有　□無 | | | 配管支持写真 | 有･無 |
| 供給管と導電性の支持面との電気絶縁措置：□実施　□無  供給管の埋設立上部に電気的絶縁継手：□使用　□未使用 | | | 絶縁措置写真 | 有･無 |
| 材料  第7号  例示28 | バルブ、集合装置、供給管の材料：□適切なものを使用　□未確認  供給管の材質を様式第1号及び施工図面に記載 | | | 様式第1号 | － |
| 施工図面 | 有･無 |
| 漏えい防止  第8号の2  例示40 | 集合装置、供給管の修理又は取り外し時の漏えい等の防止措置  □実施済み　□対象なし | | |  | － |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 気密試験  第9号イロ  例示29 | 調整器とガスメーター間の供給管の内容積を様式第1号に記載  気密試験の自記圧力計：□機械式　□電気式ﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑ式 | 様式第1号 | － |
| 規則イ　1次調整器と2次調整器の間の供給管の気密試験  　　　　(基準：0.15MPa以上)  □試験記録を添付　□未実施　□対象なし | 試験記録 | 有･無 |
| 規則ロ　上記の規則イ以外の***供給管***(貯蔵設備とガスメーターの間を接続する管)の気密試験(基準：8.4kPa以上)  □試験記録を添付　□未実施　□対象なし  試験範囲： | 試験記録 | 有･無 |
| 漏えい試験  第10号  例示29、41 | 漏えい試験の方法：  漏えい試験の範囲：  漏えい試験の圧力：　　kPa、試験圧力保持時間：　　分 | 試験記録 | 有･無 |
| 圧力保持  第11号イロ | 規則イ　生活の用に供するものの燃焼器入口圧力：　　kPa  □対象なし　　　(基準：2.0kPa以上3.3kPa以下) | 試験記録 | 有･無 |
| 規則ロ　規則イ以外のものの燃焼器入口圧力：　　kPa  □対象なし　　　(基準：燃焼器に適合したもの) | 試験記録 | 有･無 |
| 損傷防止  第12号  例示28 | 建物の自重により損傷を受ける供給管：□有　□無  建物の自重による損傷を防止する措置：  道路法第3条の道路の埋設管：□有(埋設深　　　cm)　□無  (基準：道路法施行令第12条第3号の規定による深さ)  自動車が常時通過する場所の埋設管：□有(埋設深　　　cm)　□無  　(基準：60cm以上の深さ)  凍結により影響を受ける埋設管：□有(埋設深　　　cm)　□無  　(基準：30cm以上の深さ)  上記以外の埋設管：□有(埋設深　　　cm)　□無  　(基準：30cm以上の深さ)  埋設PE管と地表面間の標識ｼｰﾄ：□有　□金属線埋設　□無  埋設PE管の埋設位置明示：□有　□無(防護措置：　　　　　)  ｺﾝｸﾘｰﾄを貫通するPE管：□有(さや管：□有　□無)　□無 | 損傷防止写真 | 有･無 |
| 設置場所  第13号 | 地崩れ、不同沈下等のおそれのある供給管：□有　□無  建物の基礎面下の供給管：□有　□無 |  | － |
| 危険標識  第14号 | 危害を及ぼすおそれのある地盤面上の供給管：□有　□無  危害を及ぼすおそれのある供給管の危険標識：□有　□無 | 危険標識写真 | 有･無 |
| 排除措置  第16号  例示32 | 自然気化のドレン溜まり：管径　　mm、長さ　　cm  気化装置のドレン溜まり：　　L | 排除措置写真 | 有･無 |
| ガス栓  第18号 | 一の供給設備により二以上の消費設備：□有　□無  ガスメーター入口側の供給管にガス栓：□有　□無 | 設備写真 | 有･無 |
| 気化装置  第19号  例示33、34 | 気化装置の有無を様式第1号に記載 | 様式第1号 | － |
| 気化装置の耐圧試験の試験成績書を添付  LPガスを直火で加熱する構造：□有　□無  液状LPガス流出防止措置：□ﾌﾛｰﾄ　□気化ｶﾞｽ温度  □熱媒温度　□他(　　　　　)  温水部凍結防止措置：□有　□無 | 試験成績書 | 有･無 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 調整器  第20号  例示30 | 調整器の耐圧試験の試験成績書を添付  調整器の気密試験の試験成績書を添付  ***例示基準第30節1(2)の測定方法による***調整圧力及び閉そく圧力  調整圧力の施工場所での測定値：　　　kPa  閉そく圧力の施工場所での測定値：　　　kPa | 耐圧、気密試験成績書 | 有･無 |
| 調整圧力試験記録 | 有･無 |
| 閉そく圧力試験記録 | 有･無 |
| 地下室等  第21号 | 供給設備、消費設備及び特定供給設備に関する技術基準等の細目を定める告示第3条で定める地下室等：□有　□無 | 施工図面 | 有･無 |
| 上記の地下室等には、LPガスの供給を停止する緊急遮断装置  □有　□無 | 緊急遮断装置の写真 | 有･無 |
| ｶﾞｽﾒｰﾀｰ  第22号 | ガスメーター型式：  □規則イ及びハの遮断機能　□規則ロ及びハの遮断機能  □規則ハのみ(理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)  規則イ　異常なガス流量を検知したときに自動的にガスの供給を停止する機能及びその旨の表示  規則ロ　ガス漏れ警報器を用いた機器であって、ガス漏れを検知したときに自動的に供給を停止(□ガス漏れ警報器を内蔵　□連動遮断のためのガス漏れ警報器を設置)  規則ハ　対震自動ガス遮断器 | 遮断機能が確認できる書類 | 有･無 |
| 耐圧試験  第8号 | | 規則イ　バルク貯槽と調整器の間の管の耐圧試験  (基準：2.6MPa以上)  □試験記録添付　□未実施(適合管使用)　□対象無 | 試験記録 | 有･無 |
| 規則ロ　調整器とガスメーターの間の管の耐圧試験  (基準：0.8MPa以上)  □試験記録添付　□未実施(適合管使用)　□対象無 | 試験記録 | 有･無 |
| 規則ハ　1次調整器と2次調整器の間の管の耐圧試験  (基準：0.8MPa以上)  □試験記録添付　□未実施(適合管使用)　□対象無 | 試験記録 | 有･無 |
| 施工後の表示  規則第115条第1号 | | 2以上の消費設備に供給するための供給設備：□有　□無  様式第59による施工後の表示：□有　□無 | 表示の写真 | 有･無 |

※１　・「告示」は、バルク供給及び充てん設備に関する技術上の基準等の細目を定める告示

　　　・「例示」は、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則の例示基準

　　　・「県手引」は、滋賀県液化石油ガス設備工事届の手引の8. よくある質問

※２　・供給設備の技術上の基準の適合状況の根拠となる書類がある場合は、その書類名および添付の有無を記載する。既に書類名が記載されているものについては、その書類を添付する。

　　　・変更の工事にあっては、変更のあった部分についての試験成績書および写真を添付する。

　　　・写真については、技術上の基準の適合状況がわかるものを抽出して添付する。全体写真にて適合状況が確認できる場合は、全体写真のみを添付する。

※３　・変更の工事であって、従前から告示第15条第2項第2号によりガス漏れ検知器を設置していない場合は、変更前に実施していた漏えいの有無の確認記録を添付する。その他の場合は、漏えいの有無を記録する様式を添付する。